

**令和8年度 京都大学経営管理大学院・社会人講座**  
**「京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラム」カリキュラム概要**

**1. 全体の構成**

本プログラムは、経営者の意思決定と行動を支援できる専門人材の育成を目的とし、座学と実践を組み合わせた構成としている。座学では、経済社会・戦略・組織・ファイナンスなどの観点から、経営計画を軸とし管理会計の体系を学ぶ。あわせて、経営者の思考や判断を引き出すための対話のあり方にも触れ、学んだ内容を実際の経営者実習で活用することで、理論と実践を往還しながら理解を深めていく構成となっている。

【表1】スケジュール

テーマ(仮)	開催日程	時間	講師
経済社会と会計	7月4日(土) 7月5日(日)	15.5	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授) ゲスト講師予定
コーチングと会計	7月25日(土) 7月26日(日)	15.5	小屋一雄(ユダ イモアマネジメント株式会社代表取締役) ゲスト講師予定
ファイナンスと会計	8月22日(土) 8月23日(日)	15.5	篠田朝也(岐阜大学教授) ゲスト講師予定
戦略と会計	9月19日(土) 9月20日(日)	15.5	藤野雅史(日本大学教授) ゲスト講師予定
組織と会計 中間報告	10月17日(土) 10月18日(日)	15.5	丸田起大(西南学院大学教授) 澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授)
経営者実習	11月7日(土) 11月8日(日)	15.5	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授) ゲスト講師予定
経営者実習	11月28日(土) 11月29日(日)	15.5	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授) ゲスト講師予定
経営者実習	11月~12月	45	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授)
最終報告会	12月19日(土)	8	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授)
研究会	12月20日(日)	—	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授)

※開講方式:対面

※開催場所:京都大学吉田キャンパス

※開講時間:土曜日10時30分-18時00分(最終回は19時まで)、日曜日9時30分-17時

※開催方法および開催場所に変更の可能性があります。

※成績評価の対象となる条件として2/3以上の出席を求めます。

※11月~12月の45時間は講義外の自学自習・グループワークを想定したおおよその時間です。

## 2. 座学の概要

経営を支援する会計専門家に求められる管理会計の体系的理解を目的として、座学では「経済社会と会計」「コーチングと会計」「ファイナンスと会計」「戦略と会計」「組織と会計」を学習する。各回では、経営計画の策定・実行に必要な理論を講義で学ぶとともに、ケーススタディやコーチングセッションにより実践での活用を促進する。くわえて、ゲストスピーカーによる講義を通じて、統合報告書やダイナミックプライシング、レベニューマネジメントなど、理論と実務を結び付ける最新の研究テーマからの視点を取り入れる。

【表2】 2日間で1領域を扱う場合のスケジュール例（「戦略と会計」の例）

1日目（土曜日）		2日目（日曜日）	
10:30~12:00	講義1	9:00~10:00	講義3
12:00~13:00	昼休み	10:00~10:20	休憩
13:00~14:40	コーチングセッション1	10:20~12:00	コーチングセッション3
14:40~14:55	休憩	12:00~13:00	昼休み
14:55~15:55	講義2	13:00~14:00	講義4
15:55~16:10	休憩	14:00~14:20	休憩
16:10~17:50	コーチングセッション2	14:20~16:00	コーチングセッション4
17:50~18:00	振り返り	16:00~16:20	休憩
		16:20~17:00	振り返りとコメント

## 各領域の概要

### 経済社会と会計

「経済社会と会計」では、経済社会の中で会計が果たしてきた役割と、その役割が変化している背景、および専門家への期待を捉え直す。会計を単なる記録や報告の技術ではなく、企業のミッション・ビジョン・バリュー（MVV）を起点とし、将来あるべき姿から現在の行動を導く「逆算の経営」を支える共通言語として位置づける。その上で、経営者の思考や意思決定を引き出し、行動変容につなげる専門家に求められる基本的な視座を養う。

### コーチングと会計

「コーチングと会計」では、本講座のベースとなるコミュニケーションスタイルのコーチングについてその手法や実践方法を学ぶ。グループワークを通じてお互いにフィードバックをすることで、自身のコミュニケーションスタイルの長所や短所を再度認識する。本講義ではケーススタディーを用いながら、経営者から理念やビジョン、ミッションを引き出す場を想定してコーチングセッションを行う。

### ファイナンスと会計

企業経営を行う上で、経営者や管理者は、各種の重大な意思決定を行わなければならない場面に直面する。特に、経済的に大きなインパクトを与えるような投資案件の可否に関する意思決定は、企業の将来を大きく左右するものとなる。「ファイナンスと会計」では、ROIC-TREEで分析した企業についてさらに詳細な財務分析を実施し、企業価値を含む分析手法を修得する。

## 戦略と会計

「戦略と会計」では、企業価値を左右する戦略と、その実行を支える会計の役割を学ぶ。戦略を単なる計画や分析で終わらせず、組織の行動として動かすために、SWOT分析による具体的な積極戦略の立案や、BSCを用いた戦略目標・KPIの設定を通じて、戦略と実行を結び付ける視点を養う

## 組織と会計

戦略を策定しても、誰がその戦略を動かしてくのかその組織構造や責任を明確にしなければ、どんなに優れた戦略でも絵に描いた餅で終わる可能性が非常に高い。「組織と会計」では責任会計制度を中心に理論を学びながら、組織をどのように設計すべきなのか議論する。

## 3. 経営者実習の概要

経営者実習では、京都商工会議所と連携し、座学で学んだ管理会計、戦略、組織、ファイナンス等の知見を、実際に経営者支援の場で活用する。受講生はチームを編成し、経営者との対話を通じてMVVや将来像、課題等を整理し、「逆算の経営」から経営計画の策定に取り組む。理論に基づく分析と現場での運用を往還しながら、経営者の意思決定や行動につなげる実践力を養う。

### 3.1 予備知識の準備

座学にて、最低限必要な理論的な知識とコーチング手法を会得していることが期待される。その上で、参加する企業によって、その業界や製品についての予備知識を求められる場合がある。

### 3.2 チーム編成

原則として受講生4-5名で一つのチームを編成する。複数の受講生が一つのチームを作ることで、お互いの経験や知見から学び合うことが期待できる。

### 3.3 指導体制

原則として各チームにはメンター（本プログラム修了生）が付き必要な助言を行う。

### 3.4 報告会

コーチングを通じて作成された経営計画を経営者と共に発表する最終報告会を実施する。他のチームの参加者や講師からフィードバックを受けることで、策定された経営計画をさらにブラッシュアップすることが求められる。

## 4. 成績評価方法の概要

本プログラムにおける成績評価は、(1)座学におけるグループディスカッションなどでの貢献、(2)座学におけるレポート、(3)最終報告会での発表、を総合的に判断して評価する。なお、成績評価の対象となる条件として2/3以上の出席を求める。

## 5. 会場

京都大学吉田キャンパス 〒606-8317 京都市左京区吉田本町

以上